2022年7月10日
環境安全部

安全衛生だより第７号

８月全国行事

１）夏の省エネ総点検の日	８月１日
２）電気使用安全月間	８月１日～３１日
３）防災週間	８月３０日～９月５日

安全・衛生・防災の心得　：　勤労者の「労働安全衛生法」の順守義務

労働安全衛生法及び規則は労働災害を防止するための基本となる法令ですが、これを守る義務は「事業者」はもとより、労働者に対しても罰則を設けて義務づけています。これらの法令は、事業場や職場の安全衛生管理規定や安全作業手順等にも応用されています。必ず守りましょう。

労働安全衛生法（第２６条～２７条）で定められた「労働者の順守義務」の例

- □機械等の安全装置を勝手に取り外したりしないこと。
- □自分や同僚の安全確保を積極的に図ること。
- □高所から物を投下したりする等の危険な行為をしないこと。
- □高所への昇降などは(階段やハシゴなど)昇降設備を使用すること。
- □機械などに接触する恐れがある作業の場合は安全な治具・工具を使用すること。
- □高所等での墜落制止用器具や保護具の使用。有害業務での保護マスク等を使用すること。
- □運転中の機械等に乗ったり、手を入れたりしないなど、危険行為の禁止。
- □立入禁止、危険・有害場所へみだりに立ち入らないこと。
- □有資格者が行う機械等の運転を無資格で行わないこと。
- □車両等の運転では制限速度を守ること、など。

心とからだの健康づくり　：　「ロコモ年齢」スマホで測定、健康づくり

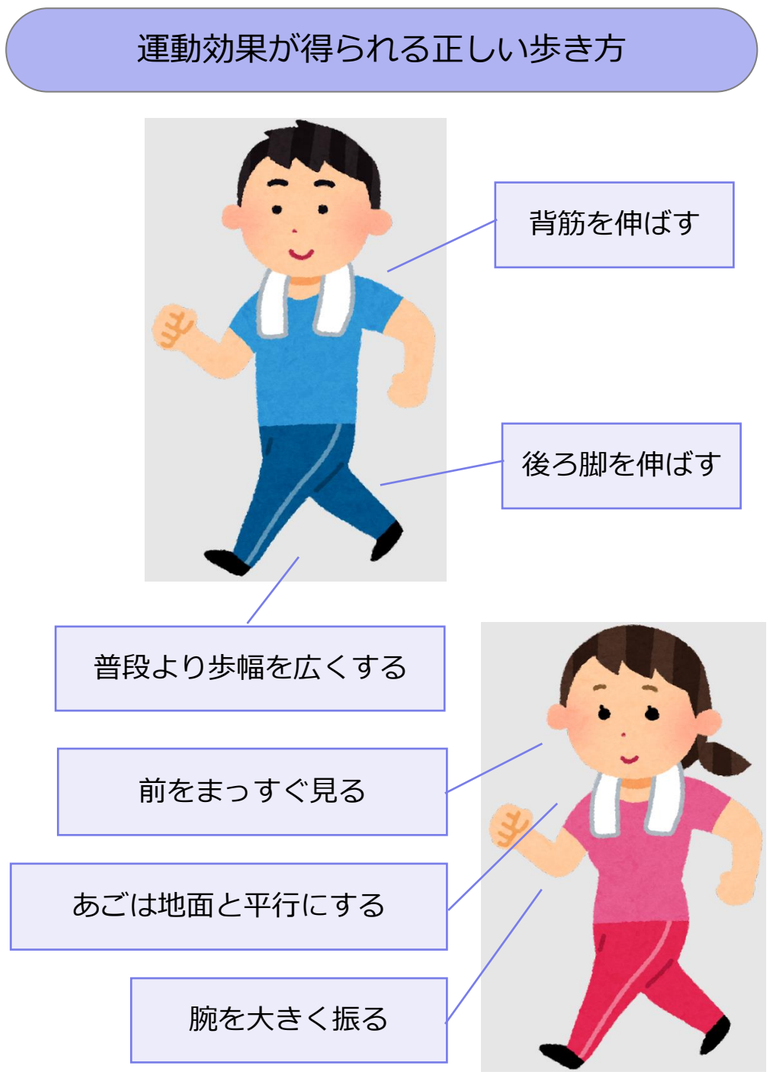
ひざが痛い、腰が重い・・・。自分の体を動かす「運動器官の健康度」をスマホで簡単に測れるツールを、日本整形外科学会の医師らでつくる「ロコモチャレンジ！推進協議会」が開発しました。

「ロコモ」とは、関節など運動器の機能が低下して移動が難しくなる状態をいいます。ロコモが進行すると転倒するリスクも高まり、要支援や要介護の原因となります。今回、開発された測定では、「ロコモ年齢」を算出して、判定結果に応じた運動上のアドバイスや注意点も受けられる特徴があります。スマホで下記サイトにアクセスして、痛みや歩行など体の状態や生活状況に関する２５の質問、例えば「２Ｋｇ程度の買いものをして持ち帰ることはどの程度困難ですか」といった質問の当てはまる項目を選択します。続いて、身体を垂直に持ち上げる「立ち上がりテスト」（選択式）などに答えると、「ロコモ年齢」が表示されます。実際の年齢より高いか低いかによって、どのように体を動かせばいいかおすすめの運動法なども紹介されます。

ロコモチャレンジ！推進協議会では、「ロコモ年齢は、十分なデータと正確な算出方法に基づくものです。特に２０～５０代の人は、自分のこととして気づくために使ってほしい」としています。

公益社団法人日本整形外科学会HP
https://locomo-joa.jp/locomo-age

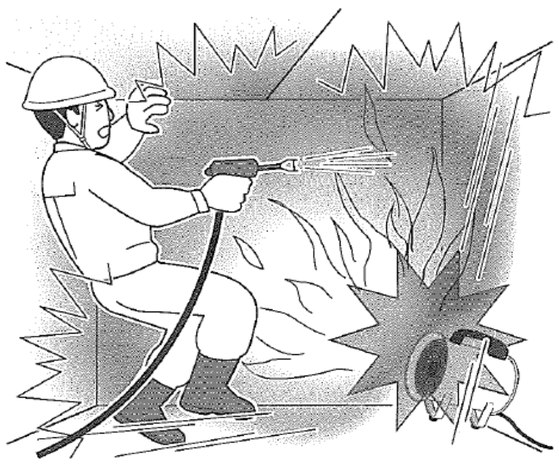
運動効果が得られる正しい歩き方



他社　事故・災害事例から：タンク内をスプレー塗装中爆発して重傷

（１）災害発生状況

内容積約４㎥の原料タンクの内部で、工事会社の作業者（２５歳）が排風機を使用してスプレーガンで油性塗料の塗装作業をしていたところ、爆発が発生し、作業者が右半身火傷の重傷を負いました。



（２）災害発生原因と補足事項

①半開放タンク底部に蓄積した塗料の有機溶剤蒸気が爆鳴気の状態になっていたこと。
②タンク内で使用していた排風機が防爆構造でなかったため、排風機の火花が点火源になったこと。
③有機溶剤作業主任者は選任されていたが、不在であったこと。
④塗装作業についての作業手順書がなく、指導・教育も行われていなかったこと。
⑤作業前に監督者等を交えて関係者でリスクアセスメントを実施していなかったこと、など。

（３）再発防止対策

類似災害の防止のためには、次のような対策の徹底が必要です。
①狭い場所での塗装は、防爆構造の排風機等を使用し刷毛やローラーによる手塗りで行う。
②有機溶剤作業主任者に、当作業の作業方法を指示させるなど、規定の職務を行わせる。
③リスクアセスメントを実施して、危険性・有害性の高い作業の安全性を図る。
④有機溶剤の有害性、危険性等について安全衛生教育を実施（受講させる）する。
⑤作業手順書を作成して、教育・指導を徹底する、など。

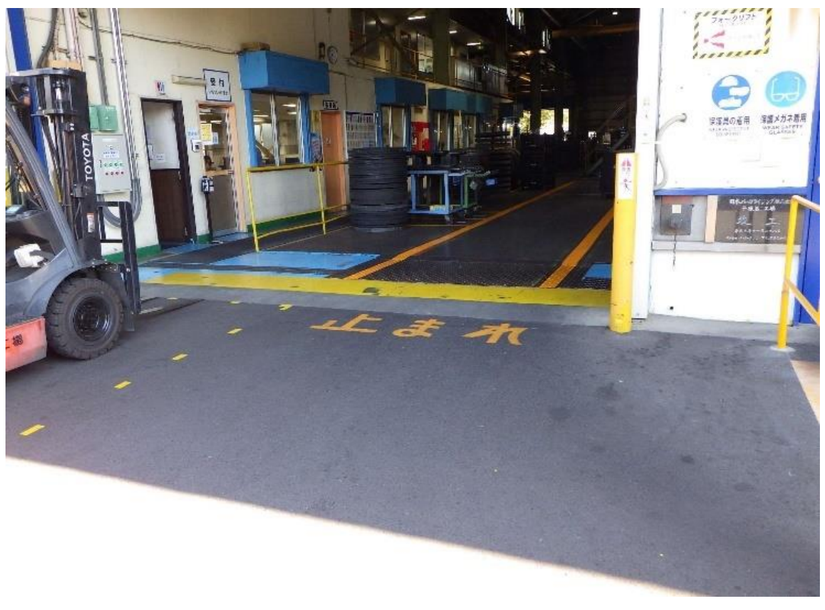
●環境安全部より：当社においても、可燃性ガスが滞留していた場所の近くでガス溶断作業を行い火花がガスに引火した事例があります。十分にご注意頂きますようお願い申し上げます。
当社、構内作業安全基準書（改訂第２版）の中でも、共通１－１・作業責任者、共通１－４・安全衛生教育、作業２－６有害物取扱作業について記載しておりますのでご参照下さい。

当社　良い事例（抜粋）

●平塚第二工場（熱処理）

①スキルパスポートの改訂

②急発進等の抑制のためスロープを改修



ヒヤリハット事例

●事業場より提出されたヒヤリハットです。危険予知活動に利用してください。

いつ	作業中
どこで	備品倉庫
何をしている時に	中に入り横引き扉を閉めた
どうなった	扉が重いので力を込めて閉めたら壁に手をぶつけて擦りむいた （以前も同様の怪我をしたが、たまにしか入室しないので忘れていた）

以上